とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	志村さかした保育園
日時	令和7年1月6・17・20・27日

1．活動テーマ

＜テーマ＞

4歳児…体操教室　お相撲

＜テーマの設定理由＞

・おしくらまんじゅうやお相撲に興味を持つ。
・寒さに負けず体を動かす楽しさを知る。
・負けても泣かずに頑張ろうという気持ちを持つ。

2．活動スケジュール

・準備運動をする。　・手押し車をする。
・お相撲で講師と対戦、次に子ども同士で対戦する。
・講師がオニでどろけいをする。

3．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・お相撲をする為のマットを敷く。
・長椅子を置いて応援席を作る。

4．探究活動の実践

＜活動内容＞

・音楽をかけてホールを走る。
・並んで挨拶をする。
・ペアになって柔軟体操などをする。
・手押し車をする。
・マットを敷いて、「お相撲」をする。
・マットから出されたら負け。長椅子に座る。
・最初は講師と、次に子ども同士みんなで対戦する。
・残っていた子は「チャンピオン」。
・何度か繰り返しみんながチャンピオンになれるようにする。
・講師がオニになって子ども達を追いかける「どろけい」をする。
・並んで挨拶し、終わる。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり＞

・手押し車を安定して長く押すことが出来ると楽しくなってホールを広く動き回っていた。
・対戦前は「おねがいします」、対戦後は「ありがとうございました」とあいさつをきちんとします。
・まずは講師と対戦して、押し方、力の入る姿勢などを体で感じます。講師も力を入れて押してくるので足で踏ん張る力がつきます。
・みんな講師を押し出そうと手で押したり、動かないと頭をつけて押したり、ひっぱってみたり思い切り力を入れて押してきます。
・見ている子は「〇〇がんばれー」と応援にも力が入ります。

5．振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

・手押し車は、足をバタバタするとすぐにバランスを崩して倒れてしまうので、持つ方がしっかり抱え込むように支えてあげると安定し長くやることが出来て、どっちも楽しそうにしていた。
・講師を押し出そうと、頭をつけて押したり、腰を落として姿勢を低くしたり、自分で思い切り力が入るやり方を探しながらやっていた。
・相手に投げられて負けて悔しくて涙を流す子もいたが、並んで待っている間にしっかり切り替え、次の対戦の意欲に変えることが出来ていた、その様子に心の成長を感じた。